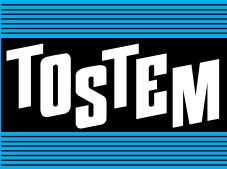


承認	審査	起案
..	..	..

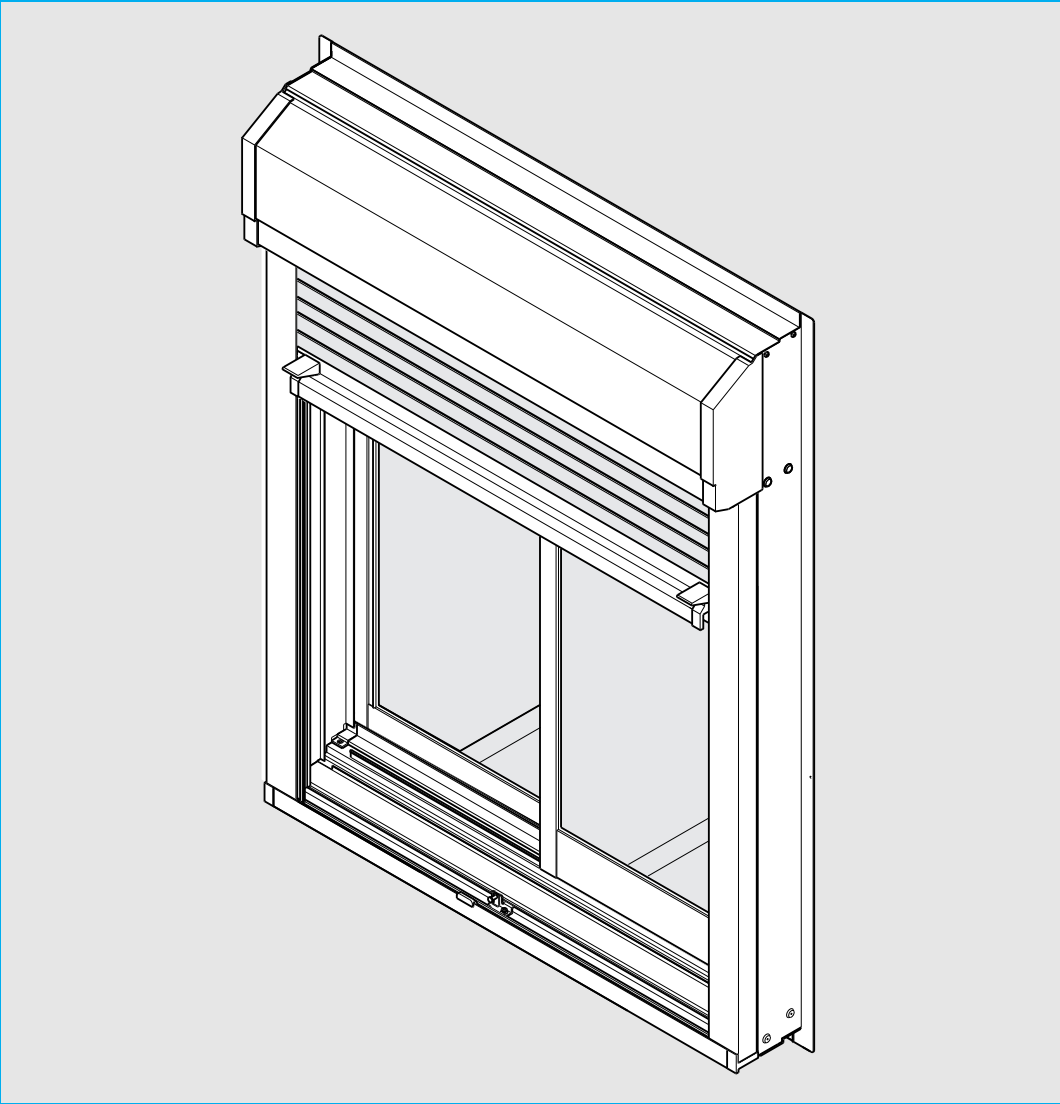
MAJ-517A
3類
2003年7月1日発行

施主さま用



らくらく電動 シャッター イタリアEZ

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは「イタリアEZ」の操作及びお手入れを行わないでください。
- この取扱い説明書は、ご使用中にご不明な点や、お手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。



トステム株式会社
本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

ご用命は

●この「取扱い説明書」では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語の種類と意味

●この「取扱い説明書」では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合に用います。

A full page of blank graph paper. The grid consists of small, uniform squares formed by thin black lines. There are no margins, text, or other markings on the page.

重要なお知らせ

お願い

※安全のために必ずお守りください。
「イタリヤEZ」の操作及びお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。
もし、この取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によって、ケガ及び損害が発生した場合は、トステム株式会社及びその販売会社に責任はないものとさせていただきます。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。従って、「イタリヤEZ」の操作及び、お手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問合わせにつきましては、下記の窓口にご相談ください。

問合わせ事項	連絡先	所在地・TEL
商品全般	最寄りの トステム(株) 営業所	
	トステム(株) お客様相談室	〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1 TEL (03) 3638-8181 フリーダイヤル ☎ (0120) 126-001

商品保証について

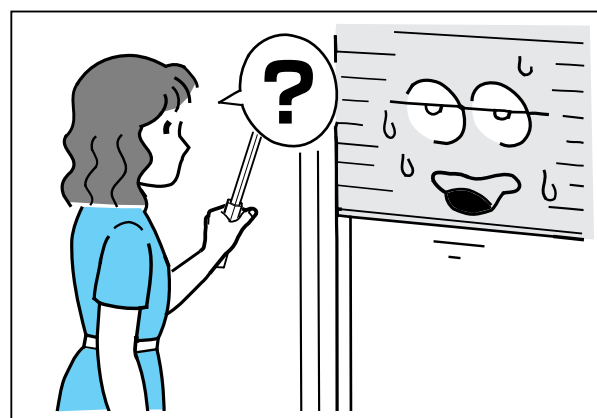
本書は、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。
保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は、当社商品相談窓口にご相談ください。

- 対 象 商 品 サッシ・ドア商品
- 保 証 期 間 施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）ただし、商品からの雨水侵入については10年間とします。
注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2）分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。
- 保 証 内 容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水侵入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。
- 免 責 事 項 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合。
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
 - ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付られた場合の不具合。
 - ③商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など。木製品の反り、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合。
 - ④自然現象や住環境に起因する結露などの不具合。
 - ⑤環境が特に悪い地域又は場所での腐食及び不具合。（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
 - ⑥天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
 - ⑦施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。
 - ⑧犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合。
 - ⑨引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
 - ⑩お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。
 - ⑪本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
 - ⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は、当社商品相談窓口にお問合わせください。

お願い

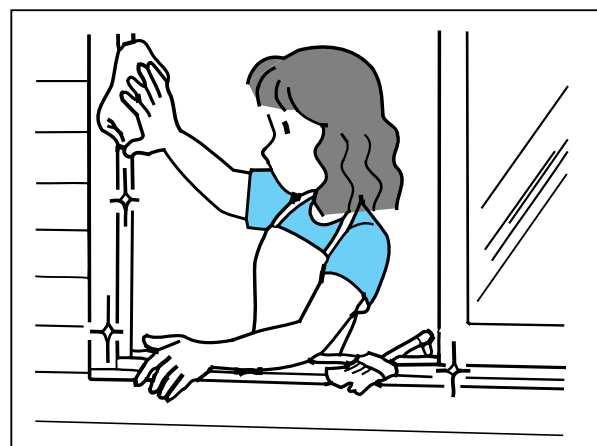
※短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置が働き、一定時間動作が停止します。(故障ではありません。) 20～30分程度間をおくと、再び開閉できます。



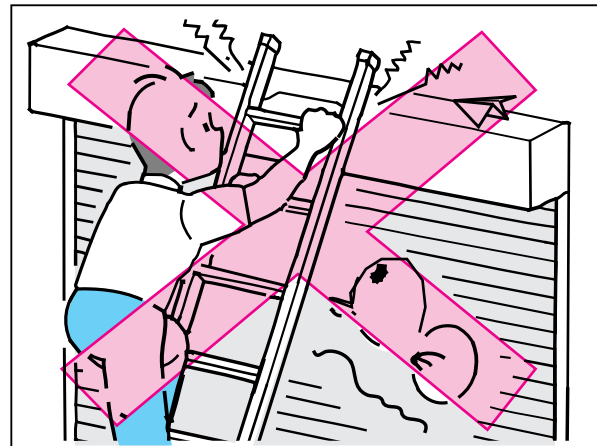
※おやすみ又は外出の際は「シャッター」を閉め、必ず内側のサッシなどもロックしてください。強風・雨の際もきちんとロックをしてください。



※下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。



※「シャッターボックス」にはしごをかけたり、上にのったりしないでください。変形するおそれがあります。



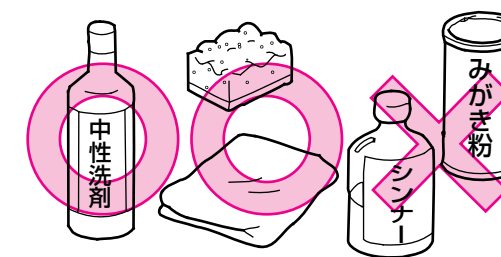
3

お手入れのしかた

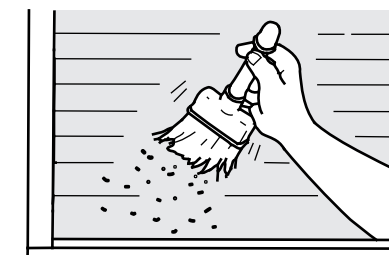
「イタリアEZ」はアルミニウム及び鋼板で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリは腐食の原因になりますので定期的に掃除してください。

お願い

※お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金べらなどを使用しないでください。
※洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



- ①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂などを取除いてください。
- ②ガイドレールに付いたゴミ・ホコリなどをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。



- ③以下の要領で汚れを落としてください。

【あまり汚れがひどくない部分】

・ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

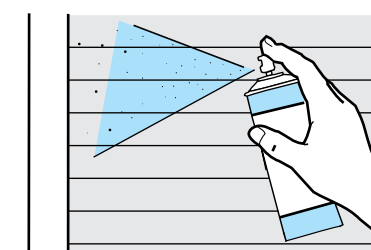
【特に汚れがひどい部分】

・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



- ④鋼板部にサビがでた場合

●まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。その時、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



点検とお手入れ

※この章では、「イタリアEZ」の操作をする場合を守るべき安全事項を説明しています。

お願い

- ※シャッターボックス内部に絶対に水をかけないでください。駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
- ※シャッター全開時及び途中停止時にスラットや幅木にぶらさがないでください。故障や破損の原因になります。
- ※本商品は過負荷を検出して停止するという構造になっています。商品の特性上、シャッター全閉時にスラットを下に押付けた状態で停止するため、スラットが波打った状態になることがあります。（故障ではありません）品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- ※本商品は電動モータの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉する構造になっています。商品の特性上、バランス状態によっては開閉途中に引っ掛かるような動きをすることがあります。（故障ではありません）品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- ※風が強い場合は、サッシを閉めてから、開閉操作を行ってください。シャッターが途中で停止するおそれがあります。

点検

1

- 「イタリアEZ」を安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店又はトステム（株）営業所へご連絡ください。

⚠ 注 意

- 自動停止機構の点検を行う場合は、必ず本章の手順に従ってください。本章の手順に従わない場合、事故のおそれがあります。

●点検個所

番号	点検部分	点検内容
1	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないようなキズや曲がりなどの変形はないか。
2	自動停止機構の作動	自動停止機構が作動するか本章の点検手順に従ってください。
3	手動開閉	操作手順に従い、手動で開閉できるか。 （停電時開閉機構付きの場合）

「イタリアEZ」について

1

自動停止機構について

- 「イタリアEZ」は開閉中に異物を検知すると、その場で停止します。

⚠ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 開閉中には開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
- 自動停止機構はあくまで補助手段です。異物のないことを確認した後、操作してください。

幅木ロック機構の使いかた

※この章では、幅木ロックの操作のしかたについて説明しています。

3 シャッター開閉のしかた

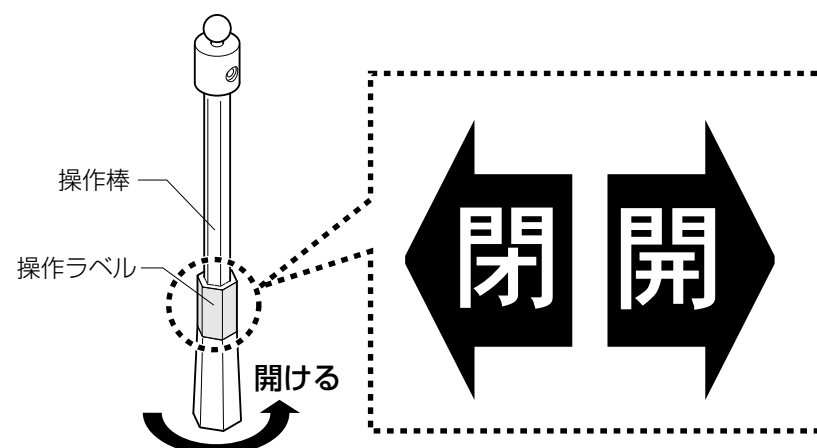
●シャッターの開閉は操作棒を用いて行います。

①操作棒ホルダーより操作棒をはずします。

②操作棒を回します。

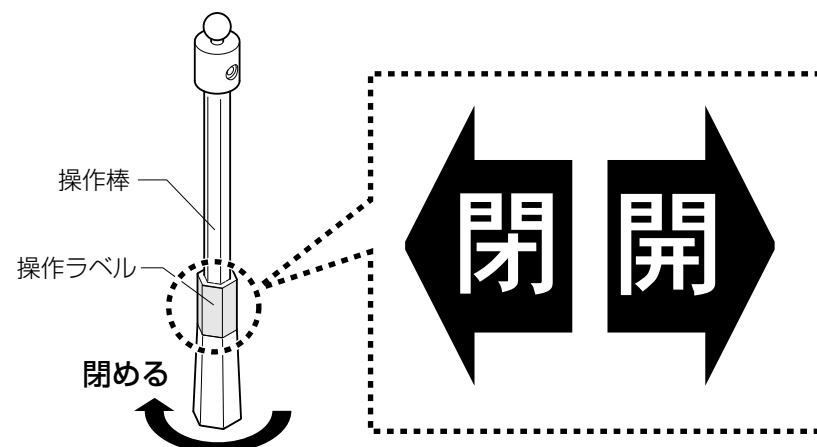
■シャッターを開ける場合

●操作棒に張ってあるラベルの開矢印の向きに従って操作棒を回します。



■シャッターを閉める場合

●操作棒に張ってあるラベルの開矢印の向きに従って操作棒を回します。



■シャッターを途中停止させる場合

●開動作中の場合

・ラベルの開矢印の向きにシャッターが停止するまで、操作棒を回します。回し過ぎますと、シャッターが閉り始めますので、ご注意ください。

●閉動作中の場合

・ラベルの開矢印の向きにシャッターが停止するまで、操作棒を回します。回し過ぎますと、シャッターが開き始めますので、ご注意ください。

③シャッターの動きが止まったら、操作棒を操作棒ホルダーに戻します。

▲ 注 意

●開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。
はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。

●開閉中には顔や手を出さないでください。
はさまれてケガをするおそれがあります。

1 幅木ロックとは

●「イタリアEZ」は自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式のロックを用意しています。
このロックを幅木ロックといいます。

お願い

※おやすみ時や外出時は、幅木ロックを施錠してください。
※内側のサッシなども必ずロックしてください。

2 幅木ロックの操作のしかた

■施錠方法

①シャッターを閉めます。

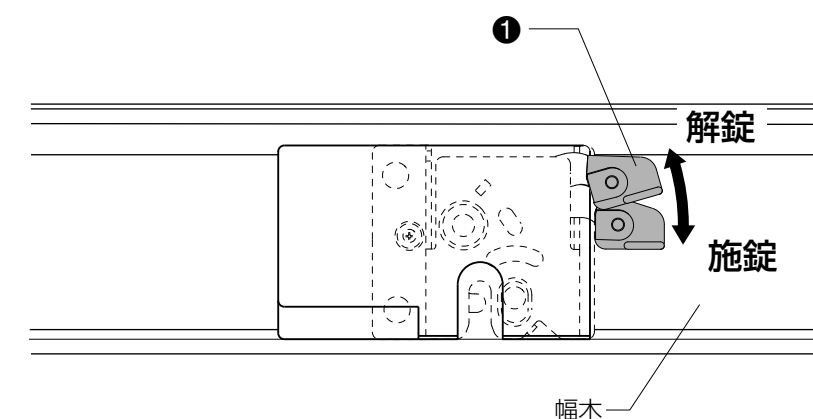
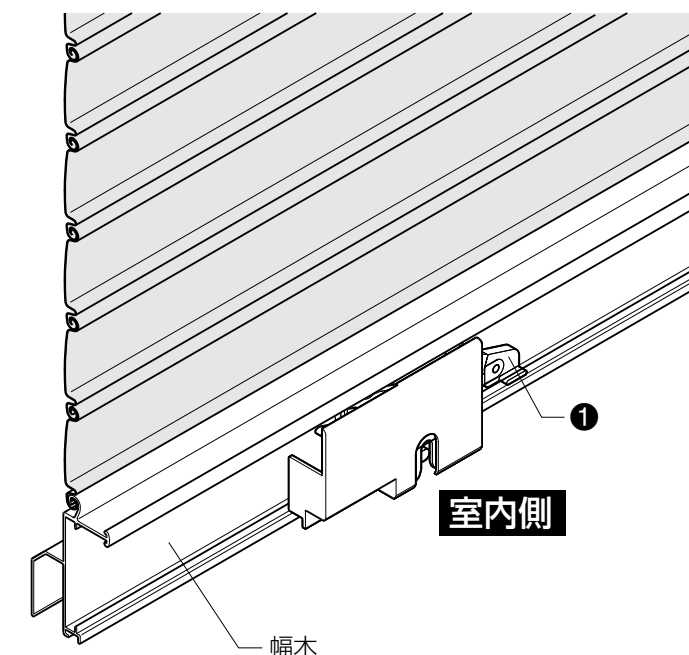
②幅木ロックレバー①を施錠側に倒します。

■解錠方法

①幅木ロックレバー①を解錠側に倒します。

お願い

※幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。



停電時開閉機構の使い方

※この章では、停電時開閉機構の使い方について説明しています。

1 停電時開閉機構とは

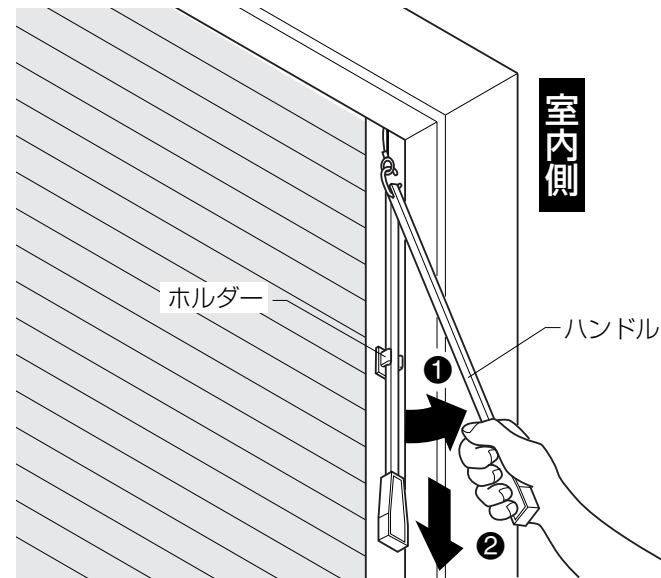
- 「イタリアEZ」は電動式シャッター雨戸ですが、停電時開閉機構付きの場合は、手動でも開け閉めできます。

お願い

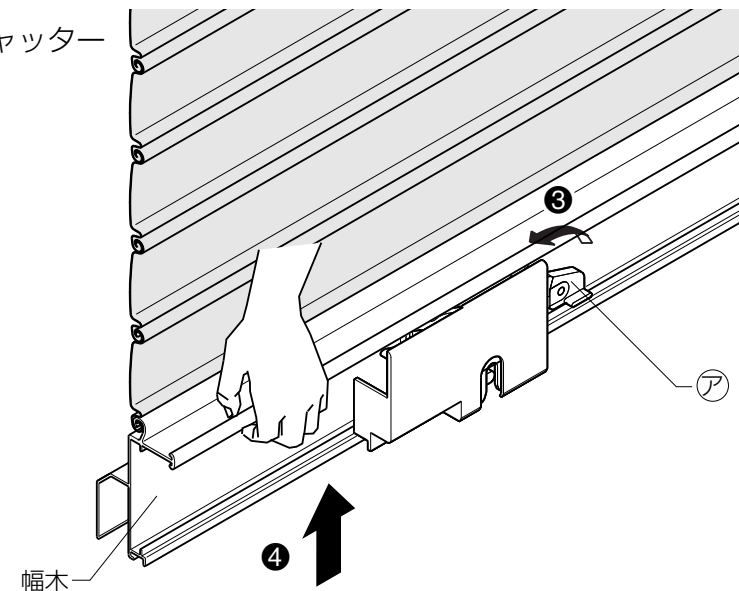
※非常時にも確実に開閉できるよう、「開閉のしかた」に従って1年に1回程度作動確認をしてください。

2 開閉のしかた

- ① サッシの障子を開き、ハンドルをホルダーからはずしてください。
- ② ハンドルを下方に引いてください。
(ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり大きな音が発生しますが故障ではありません。)



- ③ 幅木ロックを㊦解除します。
- ④ そのまま幅木を持ち上げ、シャッターを開けます。



- ⑤ 再度ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。
(ハンドルはホルダーに固定してください。)

2 各部のなまえとはたらき

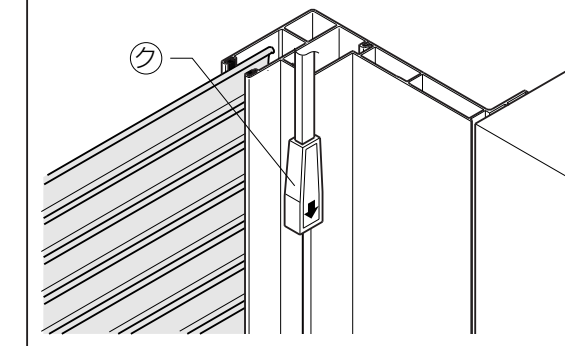
- 「イタリアEZ」の操作は「3.シャッター開閉のしかた」の手順に従ってください。

■本体

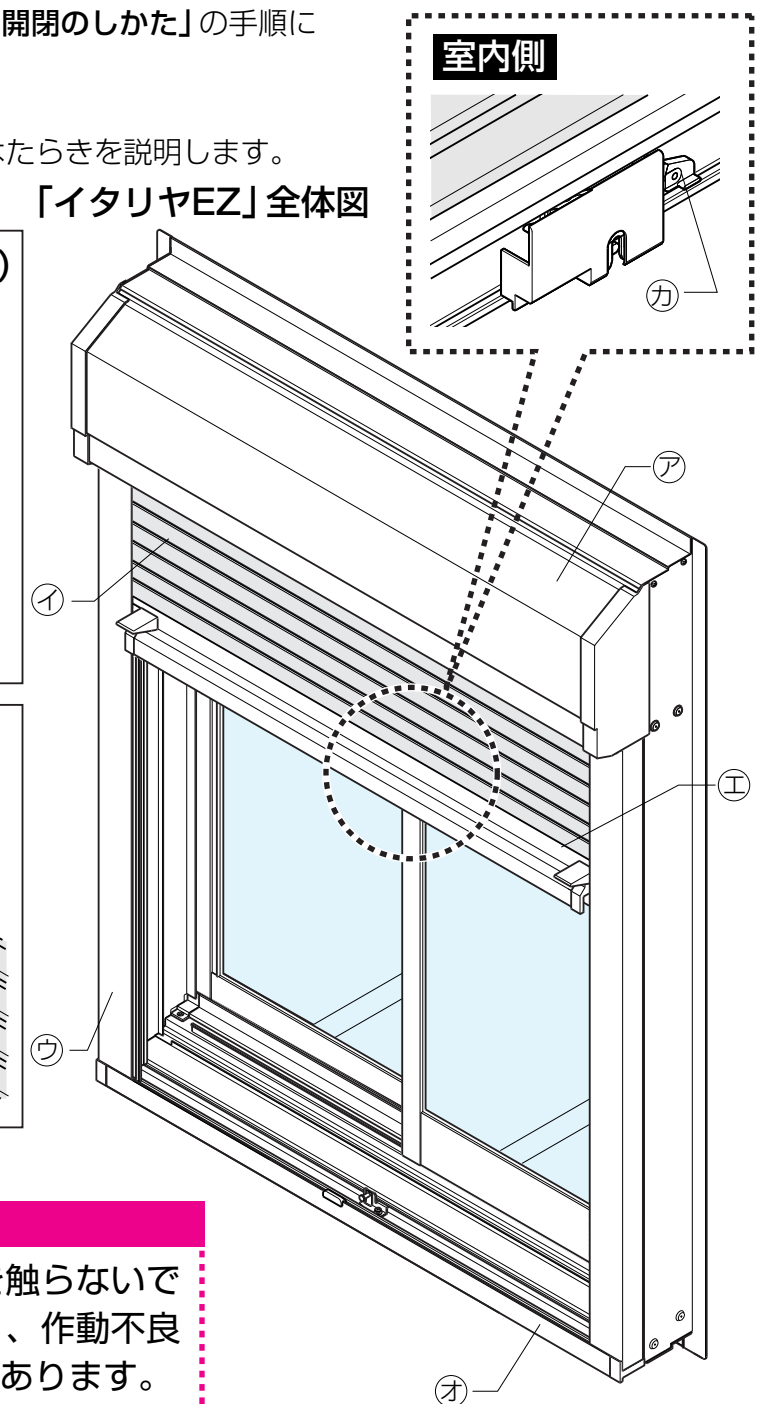
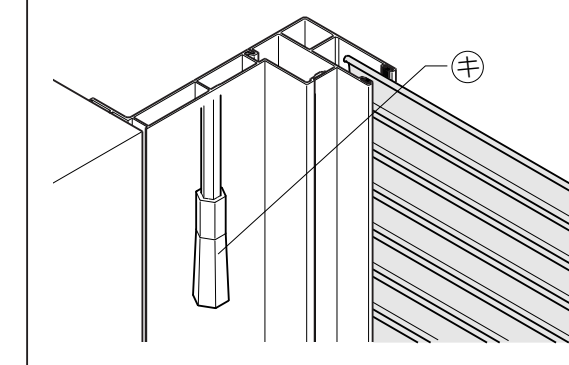
- 「イタリアEZ」本体の各部のなまえとはたらきを説明します。

「イタリアEZ」全体図

■停電時開閉機構操作部（内観右）
（停電時開閉機構付きの場合）



■操作棒部（内観左）



⚠ 注 意

- 点検口を開けて、内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

●本体各部のなまえとはたらき

記 号	なまえ	はたらき
㊦	シャッターボックス（点検口）	スラット及びモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
イ	スラット	カーテン部分です。
ウ	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
エ	幅 木	スラットの最下部で、防犯性を高める安全ロックが組込まれています。
オ	水切り	底の部分で、雨水などを流します。
カ	幅木ロックレバー	おやすみや外出するとき使用します。
キ	操作棒	左右に回転させることでシャッターの開閉を行います。
ク	ハンドル	停電時開閉機構の操作用です。（停電時開閉機構付きの場合）

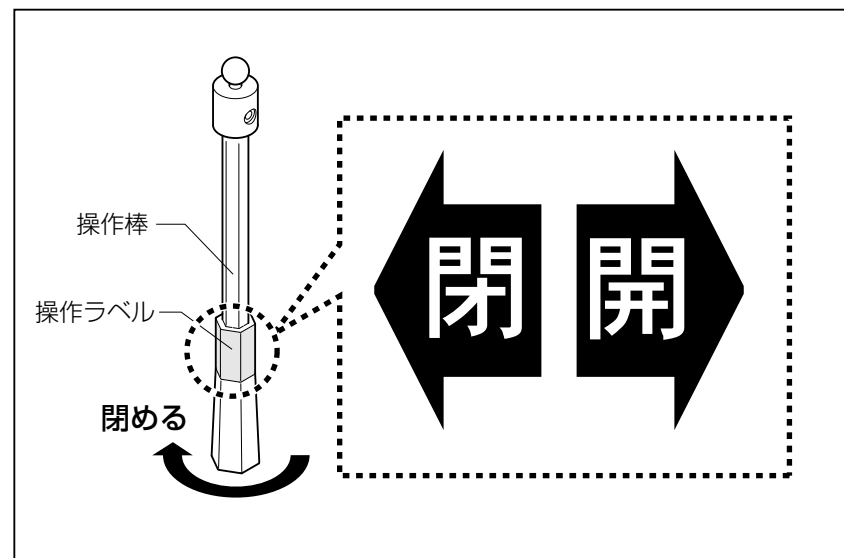
2

自動停止機構の作動点検

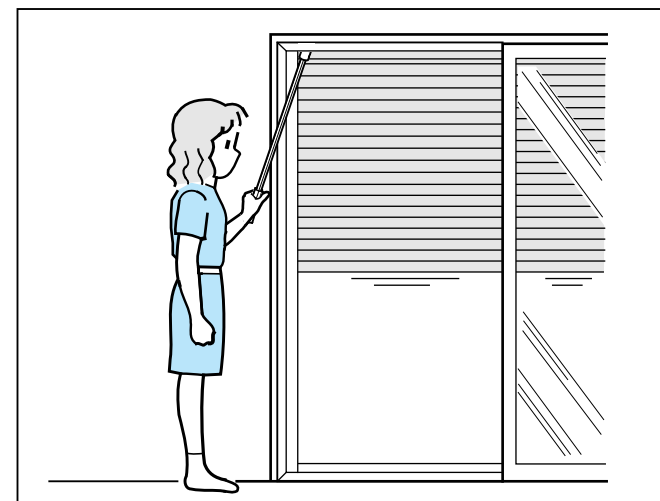
⚠ 注意

- 自動停止機構を点検するときは、差出した手が幅木に触れたら、軽く幅木を上に向けてすぐに手を引いてください。シャッターと窓枠の間に手をはさまれるおそれがあります。

- ①シャッターを全開状態にします。
- ②操作棒を閉方向に回し、シャッターを閉めてください。

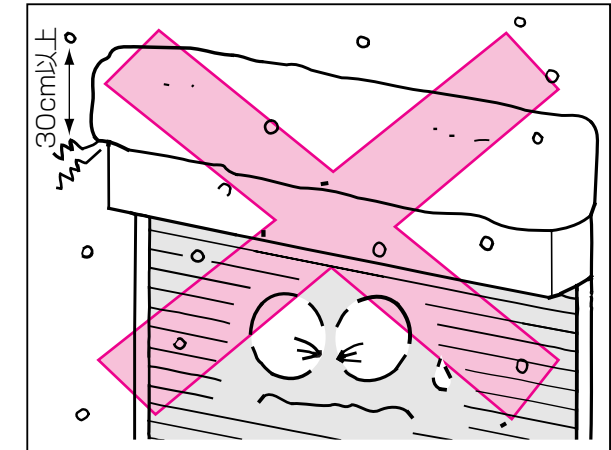


- ③シャッターが半分まで降りてきたら、手で幅木を軽く押上げます。(シャッターの下降が停止します。)
- ④シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店又はトステム(株)営業所へ連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。

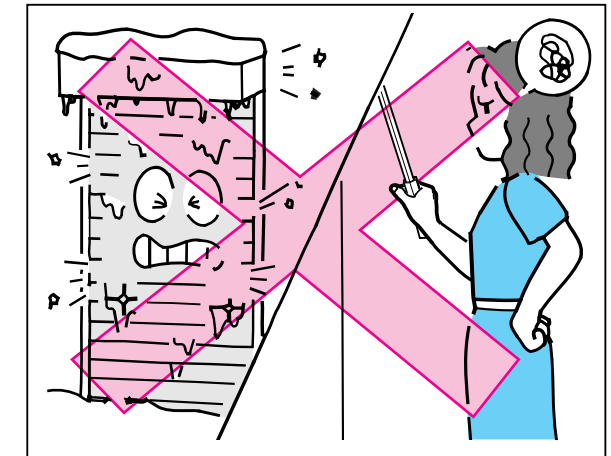


お願い

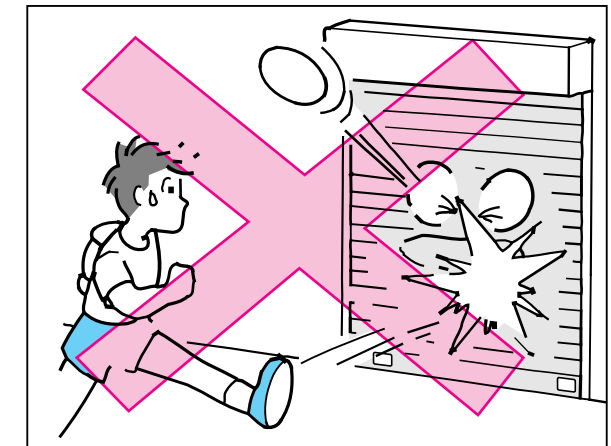
※「シャッターボックス」に雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。又、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。



※冬季などに凍結した場合は、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。



※物をぶつけないでください。変形し、スムーズに開閉しなくなるおそれがあります。



※シャッターに物がはさまれた場合は、シャッターを上昇させてから取除いてください。

シャッターが動かない場合

●シャッターが動かない場合は、必ず以下の操作を行ってから、表の指示に従ってください。

処置のしかた

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。	—
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。	—
操作棒は正しく操作しましたか？	「操作のしかた」を参照してください。	P.9
手動で開閉できますか？ (停電時開閉機構付きの場合)	ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。	P.11
ガイドレールに障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	—
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、(お買い求めの工務店、販売店又はトステム(株)営業所へご連絡ください。)	P.3
連続して開閉しませんでしたか？	20～30分程度休ませてから開閉してください。	P.5
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.6

安全のため特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

⚠ 注 意

- 改造しないでください。事故・故障の原因となります。
 - 開閉の際は周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
-
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
 - 点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になるおそれがあります。
 - 作動点検をする場合は、必ずP.12「点検とお手入れ」に従ってください。事故の原因となります。
 - 操作棒を強く引っ張ったり、ぶら下がったりしないでください。操作棒が外れ思わぬ事故の原因になります。操作棒が外れてしまったら、ジョイントボックスに再び差込むことでシャッターを動かすことができます。(故障ではありません)